

PAT-NO: JP406197848A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06197848 A
TITLE: METHOD FOR STERILIZING TOILET SEAT SURFACE

PUBN-DATE: July 19, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
TANAKA, TSUYOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
TANAKA TSUYOSHI N/A

APPL-NO: JP04362088
APPL-DATE: December 29, 1992

INT-CL (IPC): A47 K 013/30

US-CL-CURRENT: 4/233 , 4/DIG.9

ABSTRACT:

PURPOSE: To effect sanitary control of a toilet seat surface by providing a bactericidal lamp near a toilet seat, and irradiating the toilet seat surface with rays of light from the bactericidal lamp.

CONSTITUTION: When a bactericidal lamp 2 is provided to a toilet seat lid 3, the bactericidal lamp 2 is turned on with the toilet seat lid 3 closed to provide strong bactericidal effects on the surface of a toilet seat 1 and the inner surface of a toilet main body 4. The rays of light from the bactericidal lamp 2 are prevented from leaking outside for safety. The bactericidal lamp 2 may be provided to the toilet seat 1 or the toilet main body 4. The bactericidal lamp 2 may be moved opposite to the surface of the toilet seat 1. Thus the light has bactericidal effects depending on its wavelength band and various kinds of bactericidal lamps have a variety of applications. Ultraviolet bactericidal lamps that produce ultraviolet rays have particularly high bactericidal effects and therefore suitable for the sanitary control of public toilet seat surfaces.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-197848

(43)公開日 平成6年(1994)7月19日

(51)Int.Cl.⁵

A 47 K 13/30

識別記号

庁内整理番号

Z

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号 特願平4-362088

(22)出願日 平成4年(1992)12月29日

(71)出願人 591118683

田中 ▲強▼

東京都羽村市神明台2丁目4番地の1 サ
ンマンション羽村104

(72)発明者 田中 強

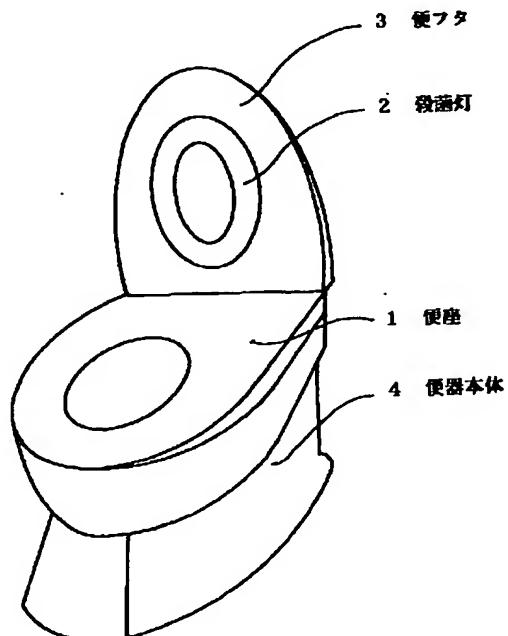
東京都羽村市神明台2丁目4番地の1 サ
ンマンション羽村104

(54)【発明の名称】 便座面の殺菌方法

(57)【要約】

【目的】 薬剤を使用せずに、簡単にかつ安全に便座面の殺菌ができる便座面の殺菌方法を提供する。

【構成】 便座(1)近傍に殺菌灯(2)を設け、便座面に殺菌灯(2)の光線を照射することを特徴とする。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 便座面の殺菌において、便座(1)近傍に殺菌灯(2)を設け、便座面に殺菌灯(2)の光線を照射することを特徴とする便座面の殺菌方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、便座面の殺菌に、殺菌灯を用いた便座面の殺菌方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 便座面は細菌で汚染されやすく、薬剤による殺菌消毒が定期的になされている。特に、多数が使用する公衆トイレにおいては便座面の衛生管理が強くのぞまれている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、上記の課題を解決し、便座面の衛生管理をすすめる目的からなされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 便座(1)近傍に殺菌灯(2)を設け、便座面に殺菌灯(2)の光線を照射することを特徴とする便座面の殺菌方法。

【0005】

【作用】 光は波長帯によって殺菌効果があることから、各種の殺菌灯がさまざまな分野で使用されている。特に、紫外線を発生する紫外線殺菌灯は殺菌効果が高く、殺菌灯として幅広く利用されている。本発明はこの殺菌

力に着眼してなされたものである。

【0006】

【実施例】 第1図は、便フタ(3)に殺菌灯(2)を設けた本発明の斜視図である。便フタ(3)を閉じた状態で殺菌灯(2)を点灯させると、便座(1)面および便器本体(4)内面で強い殺菌効果が得られる。また、殺菌灯(2)の光線が外部に漏れることがないので安全である。尚、本発明の他の実施例としては、殺菌灯(2)を便座(1)に設ける、あるいは殺菌灯(2)を便器本体(4)に設けることもできる。また、第2図に示すように、便座(1)面に對面して殺菌灯(1)を移動させてもよい。

【0007】

【発明の効果】 本発明は、薬剤を使用せずに、便座面の殺菌が使用毎にできることや取り扱いが簡単で、安全性が高い特長があり、便座面の衛生管理がのぞまれる今日、極めて有効なものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の斜視図である。

【図2】 本発明の他の実施例を示す斜視図である。

【符号の説明】

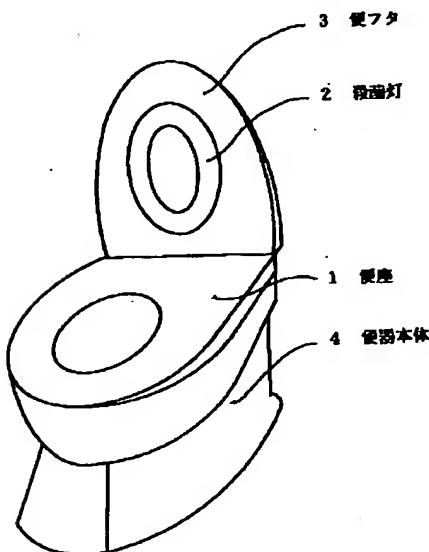
1 便座

2 殺菌灯

3 便フタ

4 便器本体

【図1】



【図2】

